

# 国務院常務会議

田中 修

## はじめに

本稿では、1-9月主要統計発表後の国務院常務会議の様相、及び李克強総理の経済に対する発言を紹介する。

### 1. 国務院常務会議（10月21日）

四半期 GDP 発表後のタイミングで開催される国務院常務会議は、通常であれば当面の経済政策が議論されるが、今回発表された内容は改革促進・構造調整が中心となっている。

かねてより、李克強総理は経済が合理的区間内にあるときは構造調整に重点を置くと明言しており、成長率がやや上向いたことで、政策の軸足を改革促進・構造調整に移したのであろう。

以下は会議の概要である（新華網北京電 2013 年 10 月 20 日）。

今年の錯綜し複雑な内外経済情勢に対し、党中央・国務院は科学的に判断を行い、我々は安定の中に前進を求めるという政策の総基調に基づき、安定成長・構造調整・改革促進を統一的に企画し、一定の政策程度を維持し、政策を安定させ、安定の中で成果を挙げた。

コントロールの方式を刷新し、(財政)赤字を拡大させないことを堅持し、金融を緩めも引き締めもしなかった<sup>1</sup>。

政府を簡素化し、権限を開放し、貿易・投資を簡便化し、金利を市場化し、営業税を増値税に改めるテストを拡大する等多くの改革を打ち出した。

農業の基礎を強固にし、内需の潜在力を発揮させ、産業構造を最適化し、過剰生産能力を解消し、小型・零細企業の負担を軽減し、民生の改善を促進する等の政策措置を打ち出した。

経済成長の合理的区間の上限・下限を明確にして、経済の下振れ圧力を有効に緩和し、社会の予想を安定させ、市場の活力を引き続き奮い立たせ、ポジティブな要因を不断に累積させた。

公表されたばかりの統計データは、7-9月期のわが国経済が安定の中で好転していることを示している。農業の豊作はすでに基本的に確実となり、経済発展の内生的動力は強化され、構造調整と産業のグレードアップには積極的変化が現れている。都市の就業は引き続き増加し、個人所得は不断に向上している。

経済の下振れ圧力が比較的大きいときは、自信を確固としなければならない。経済が安

---

<sup>1</sup> ゴチックは筆者。

定の中で好転しているときは、頭脳を冷静に維持しなければならない。現在の経済の反転上昇の基礎はなお堅固ではなく、深層レベルの矛盾が依然際立ち、発展はなお少なからぬリスク・試練に直面しており、経済の持続的で健全な発展を実現するという任務は繁雑で荷が重いことを見て取らなければならない。

我々は、年間の経済社会発展の予期目標を実現する条件・能力を有するが、なおたゆまぬ努力を堅持する必要がある。改革・構造調整の推進に更に力を入れ、引き続き既に打ち出された措置をしっかりと実施することにより、改革のボーナス効果を不断に発揮させ、政策の効果を引き続き発揮させ、真に現在のみならず長期に利するように行わなければならない。安定の中での好転の基礎を打ち固め、経済の質・効率の向上を促進し、発展の内生的動力と長期的持続力を増強しなければならない。

**(1) 政策の実現を目標にして、いささかも手を緩めることなく実施しなければならない**

各地方・各部門は政策措置の実施における脆弱な部分に対して、付随措置の整備・細分化を加速し、効率の高い具体的な方法を検討することにより、政策をできるだけ速く完全実施し、苦勞して得た積極かつ好転した市場の予想と社会の自信を更に安定させなければならない。

**(2) 政府機能の転換から着手して、引き続き改革を深化させなければならない**

政府機能の転換実施を加速し、行政命令が行き届かないという「ダム湖」現象を反転し、遅延・ごまかしと手抜き・適当に融通を利かせる行為を克服する。改革の具体的措置を検討・推進することにより、市場の役割を更に好く発揮させ、政府の管理を更に満足のいくものにし、各種主体が公平に競争する市場環境を努力して作り上げる。

**(3) 競争の新たな優位性を作り上げることを指針として、産業の転換・グレードアップを推進しなければならない**

新たな消費の成長スポットを積極的に発掘し、イノベーションによる駆動戦略の実施を加速し、新興産業の育成に力を入れ、過剰生産能力を有効に解消する。

小型・零細企業と実体経済の発展への金融等の支援を強化し、各種リスクを用心して防ぐ。

輸出入の安定的な伸びを維持し、優位性のある産業の「海外進出」を奨励して、国際競争に更に好く参加する。

**(4) 基本を維持し、最低ラインに責任を負い、公平を促し、持続可能であることを準則として、民生の保障・改善をしっかりと行わなければならない**

就業・起業を引き続き奨励し、大学生と困窮者の就業を促進する各措置を確実に実施し、付随する細則を整備する。

困窮者の基本生活の健全な保障メカニズムを整備し、被災地域の大衆の生産生活を適切に手配する。

各地方・各部門は既に打ち出した改革促進・構造調整の措置の実施状況について自己調査を展開しなければならず、国務院はこれを組織的に監督・調査する。政策措置が更に大きな成果を得るよう努力し、経済社会の発展が引き続き好転することを促進し、今後の発展のために堅実な基礎を打ち固める。

## 2. 中国工会第 16 回大会における李克強総理の発言（10月21日）

経済情勢について、次のように語った（新華網北京電 2013 年 10 月 21 日）。

今年に入り、全国の上下が共に努力し、18 回党大会精神を全面的に貫徹実施した。内外環境が錯綜し複雑で、世界経済の回復は非常に困難で曲折しており、国内経済の下振れ圧力が増大する状況下、我々は安定の中で前進を求め、安定の中で成果を挙げ、安定の中で質を高めることを堅持した。マクロ・コントロールの考え方・方式を刷新し、経済運営の合理的区間を科学的に確定することを通じて社会の予想を有効に誘導し、構造調整・改革の深化により経済の安定成長を促進することに重点を置いた。

現在の問題を直視するのみならず、長期にわたる矛盾をも回避することなく、利害のバランスを量り利に赴き害を避け、一定の政策の程度を維持し精確に力を発揮して、現在に益し、長期に利し、民生を優遇する一連の政策措置を総合的に実施した。

各方面の共同による努力を経て、**国民経済は安定の中で好転が出現した**。経済成長・物価水準は合理的区間にあり、経済構造には積極的変化が現れ、都市の新时期就業増は前倒しで年間ノルマを達成し、都市・農村の個人所得は不断に向上している。

しかし、内外の経済運営には、なおかなり多くの不確定・不安定要因が存在しており、前途にはなお少なからぬ新旧のリスク・試練があり、**経済の持続的で安定した運営の基礎を強固にする必要がある**。このことをはっきりと認識しなければならない。

安定成長・構造調整・改革促進を引き続きうまく統一的に企画し、政策措置のポジティブな効果をよく発揮しさえすれば、**年間の経済社会発展の主要目標の実現には自信がある**。今年の最後の詰めをしっかりと行えば、来年良好なスタートを切ることができる。

現在、わが国の工業化・都市化は急速に発展しており、地域の発展には大きな余地があり、内需の潜在力は巨大で、改革の深化は更に多くの制度ボーナス効果を発揮することになり、わが国経済の持続的発展にはかなり良好な基礎がある。

経済発展の内在的要因と外部条件に深刻な変化が発生するに伴い、わが国経済は既に高速成長から中高速成長の新段階に転入した。安定の中で好転している発展態勢を引き続き強固にしなければならない。このうち「好」とは、即ち、①改革の全面深化と加速を通じて、質・効率の向上と持続可能性に力を入れ努力しなければならないということであり、②「不得意分野」を「得意分野」に変えることにより、**経済発展を主として内生的成長とイノベーションによる駆動に依拠するように転換し、中国経済のグレードアップ版を作り**

上げることであり、③**発展の成果の恵みを更に多く、更に好く全人民に行き渡らせること**である。

前途に存在するリスク・試練に対応するには、広範な労働者を含む全人民の共同努力が必要である。経済発展の根本目的は、人民に幸福をもたらすことである。労働者の合法的な權益を確実に擁護し、出稼ぎ農民の問題を高度に重視し、大衆の切実な利益に関わる年金・医療・最低生活保障・住宅等の基本保障問題をしっかり解決し、更に多くの就業・起業の機会を生み出すことにより、**広範な労働者に改革・発展の成果を共に享受させなければならない。**

各レベルの工会（労働組合）組織が、党・政府と労働者・大衆を密接に連携させる架け橋・紐帯の役割を引き続き発揮し、広範な労働者と団結して現代化建設事業に身を投ずることを希望する。

（10月23日記）